

## 平成21年度第1回高知県社会貢献活動支援推進会議

- 1 日 時 平成21年5月12日（火）10:00～12:00
- 2 場 所 高知県庁北庁舎3階会議室
- 3 出席者 委員13名中12名出席、事務局7名出席
- 4 議 題 (1) 会長、副会長の選任について  
(2) 第2次高知県社会貢献活動支援推進計画に基づくH21年度支援策について  
(3) 平成21年度庁内各課の支援策概要について  
(4) その他

### 5 内 容

議題（1）会長、副会長の選任について

推薦により、会長は上田委員、副会長は八木副委員に決定。

議題（2）第2次高知県社会貢献活動支援推進計画に基づくH21年度支援策について

#### ・事務局から説明

これまでの社会貢献活動推進のための取り組みと成果・課題について

昨年度策定の「第2次高知県社会貢献活動支援推進計画」の概略について

第2次計画に基づくH21年度実施策の案を資料に沿って説明

#### ・意見交換（議長：会長）

○支援策は、項目は決めているが細かいところは未定。今後の推進会議の中で決めていきたい。

○目標に「NPOの自立」とあるが、どういう状況をもって「自立」とするのか。

○資金確保や財政基盤強化等経済的自立も必要だが、精神的な自立も必要。

○「自ら考え行動する。」ことが自立。

○助成金を上手に利用する等、NPOが経営力をつけることが自立に繋がるのでは。

○ボランティア・NPOセンターの実施事業に、NPOの経営力を身につける各種事業がある。（NPO経営塾、NPO実務講座等）これらの事業の周知も必要。

○HPはあるが3年更新していない。パソコンに詳しくないのでなかなか…。支援策に期待。

NPOから行政へ、「助けて」とは言いにくい。どこの課に相談したらいいのか分からないことがよくある。行政との関係をどう築いていけばいいのかわからない。

（事務局）社会貢献活動を推進するための県庁内体制として、「協働サポーター」という制度をH19年度から実施している。各部局の企画担当課に配置し、各部局における県民の方々やNPOからの問い合わせや当課との連携を役割としているが、まだ周知が行き届いていないのが現状。

○県とNPOのつながり、県の各課同士のつながりについては、「協働サポーター」を設置する等、取り組みは始めている。周知をどうやってしていくかは難しい問題である。

○今は人件費0、運営費のみで活動してもらっている。最近、助成金を上手に活用すれば良い事がわかってきた。

○後継者づくりがこれからの課題。

○市町村とNPOの関係が希薄。NPOの方からもっとアピールしてほしい。要望という形でも対話や知る場になる。

○NPOも情報発信不足、市町村も収集能力不足。互いの接点を持つ話し合いの場の設定等が必要。四

万十町において、市町村とNPOとのモデル的な協働事例創出の事業を高知県西部NPO支援ネットワーク等がコーディネートし、実施している。

○地域の孤独死の高齢者を救うため、「お助けセンター」的なものを造りたいと考え、高知市の事業に手を挙げたが、担当者に該当にならないと言われ、別課の別事業に応募することとなった。担当者によって理解されないこともあり、温度差を感じる。

○現在、四万十町で行っている協働事例創出事業もNPOと四万十町職員が一同に会し、互いの意見を言い合う場を設定。町の関係課も参加するので、課同士の横の繋がりができている。また、県の参加で県関係の情報を知ることできる。また、参加者は人を知ることができ、人材育成にも繋がる。

○支援策の「質的評価」はかなり難しいと思うがこれから重要だと思う。どんな方法で実施する予定か。(事務局) 評価、というより最初は「研究会」として始める予定。どんなやり方がいいのか勉強しながら進めていきたい。

○評価の指標づくり等に、大学も関わっていくことになるだろう。

評価をどう使うのかも研究課題となる。

質的評価をどう発信するのか難しい。

NPOがこれだけのことをしたと世間に言える材料にもなる。

○ヨーロッパで、評価軸を作った国があるということを知ったことがある。

○評価軸だけにとらわれず、どんな活動をしてきたかを重視するように。

○介護保険の制度で毎年評価を受けているが、どんな効果があるのか見えない。意味がないように思う。形だけの評価ではなく、関わっている人たちが満足しているのかどうかを知りたい。

### 議題（3）平成21年度庁内各課の支援策概要について

- ・事務局から資料に沿って説明
- ・意見交換（議長：会長）

○補助金の中には、市町村が補助対象となっているが、市町村からNPOへ助成が可能なものもある。しかし、補助金の情報が市町村から積極的にNPOに流れていないこともあるようだ。助成金情報については、NPOは敏感でも市町村はそうでもないことがある。NPO側から助成金情報を掴みやすいような情報提供にする工夫も必要。

### 議題（4）その他

- ・各委員からの自由な意見交換

○計画策定を行うに当たって、推進会議委員にも実際に動いてもらったが、今後新しい計画を進めるにあたって、委員としてさまざまな形で関わる必要がある。

企業関係委員の関わりも期待している。また、大学関係委員も前回1名から3名に増えたこともあり、当然、計画実施に関わっていただく期待も大きい。

○委員の皆さんのご協力をお願いしたい。